

KOCHI ROTARY CLUB

2025
2026

SINCE 1937

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-26年度 RIメッセージ

週 報



Weekly report 第3673回 2026年 6 月 9 日 2026年6月23日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。梅雨入りしたことを忘れて傘を持たずに出てきて、雨に少しずつ濡れながらまわりました。

今、イラン情勢は解決しそうな雰囲気がありますが、私は多分無理だと思っています。なぜかという、ああいう交渉というのは、お互いに相手を尊敬して、一人前と認めて話をするからまとまるのです。今は世界一の大国ですけども、250年の歴史しかないアメリカです。2500年前、ペルシャ帝国はエジプトからパキスタンまでを治めるぐらいの大きさだったんです。そのことをトランプ大統領は全然知りません。だから、アメリカが「うん」というから契約をしなさいというような話をすると思いますので、これはなかなかまとまらない。まとまったら、奇跡というか、イランの方が大人の対応をしたということになると思います。

まだ、現実には大砲の玉は飛んでいますから、どうなるかわかりません。日本は関係ないように見えて、やはりいろんな意味で影響を受けています。これもしょうがない、甘んじて受けなければいけないでしょうが、しばらくはこの影響は続くと思います。今日も楽しい例会にしましょう。



■ 本日のプログラム [6 月 23 日]

会長・幹事スピーチ

関 裕司会長・松崎郷一郎幹事・高村禎二ガバナー補佐
「1年を振り返って」

会 長	関 裕 司
副 会 長	藤 田 徹 也
幹 事	松 崎 郷 一 郎
副 幹 事	武 樋 泰 臣
会報責任者	津 野 泰 孝

● ロータリーソング「四つのテスト」

● 退会挨拶 ◎永幡 崇会員（日本銀行）

昨日辞令があり、ちょっと早いのですが東京に戻るになりました。短い間でしたが、大変お世話になりました。

この1年と10か月を振り返り、高知RCの一員であったことは私にとって誇りです。伝統と格式の高知RCですが、高知を代表する企業の皆さんに、本当に気さくに身近に接していただき、私自身、視野が広がったと思います。また、高知に来た頃はお酒もほとんど飲めなかったのですが、皆さんに鍛えていただいたおかげで、今では引っ越し荷物を整理しようとすると、日本酒や栗焼酎などが出てきて、これも成長できたと思っています。本当にありがとうございました。



● 幹事報告

- ・8月21日・東京、23日・神戸にて開催されるロータリー財団フォーラムと管理委員会ご夫妻歓迎会の案内が届きました。
- ・ガバナーエレクト事務所より、6月2日に開催された第1地域ロータリー会員増強コーディネーター補佐、大高司郎様のズーム講演会視聴の案内が届いています。
- ・松山南RCより例会開催変更のお知らせが届いています。
- ・四万十RCより、3月31日をもってクラブとしての活動を終了した旨の挨拶状が届いています。
- ・6月2日に開催された議事録をボックスに入れています。
- ・来週は休会です。



● 会員スピーチ

事件記者25年の現場から

NHK高知放送局局長 海老原 史 会員

私も永幡さん同様、先日、辞令があり7月1日で東京に戻るになりました。今日の卓話は新入会員卓話と聞いていましたが、退任会員卓話になってしまいました。今まで、高知市内2クラブで「あんぱん」について卓話をしてきましたが、高知RCでやらずに去るのは信義にもとるという事で、今回、機会をいただきありがとうございます。



私は1965年生まれ60歳、関西育ちです。大学の専門は農学部で機能性食品の開発研究、アレルギーを防ぐための食品開発に携わっていました。元々書くことが好きで、科学ジャーナリストになりたいと思ってNHKに入ったのですが、いきなり大阪に配属されて事件・事故の真っ只中で、その後の人生を変えてしまいました。

一昨年8月に高知局に着任、まもなく2年です。「たまるか」の高知では本当に濃密な日々を過ごしました。一つは、やはり去年の4月からの「あんぱん」です。皆さんから熱い声援をいただいて、町を挙げての応援、イベントには大勢の方が詰めかけてくださるなど、得難い経験をさせていただき、局長冥利に尽きます。プライベートでは、よさ

こいの地方車に乗せてもらったり、龍馬マラソンを走ったり、大自然に触れる機会も多く、本当に高知を満喫しました。そして、いよいよ再来年の大河「ジョン万」です。「あんぱん」に引き続きのご声援をよろしくお願いします。

NHKは入局当初から職種別採用があつて、基本的にはその職種が、我々は背番号と言っていますが、ついています。アナウンサー、ディレクター、技術等々、私は記者としてずっと事故の現場で過ごしてきました。振り出しは大阪です。大阪府警には、動物園記者クラブというのが天王寺動物園の中にあり、全国でも特異な場所です。そこは動物の子どもが生まれたとかほのぼのとした話題も扱うのですが、基本的には、持ち場である南の繁華街、西成地区、通天閣の新世界といったところの事件・事故を担当していました。この動物園記者クラブはかつて獣舎だったという本場にひどい所で、鉄の柵があつたり、窓ガラスが割れていたり、ソファの上は新聞が散乱、飲みかけの物があちこちに置いてある等々。他社は地方で経験を積んで大阪に来るという腕利きの記者ばかり。一方、私は1年生。毎日のように「抜かれて（業界用語・自分の知らない記事を書かれる）」いて、辛い日々ではありましたが、各社の中堅記者の方には、取材の仕方や酒の飲み方、礼儀作法まで教えていただきました。

当時の西成のあいりん地区は日雇い労働者や路上生活者が多くいました。着任した10月、ここで暴動が起きました。労働者たちは日頃、暴力団から搾取されているという被害者意識があつたところに、西成署の刑事が暴力団に摘



発情報を漏らした見返りに金をもらっていた、警察と暴力団の癒着に怒りが爆発。ものすごい数の労働者が石や火炎瓶、お酒を投げたり、暴動はエスカレートしてコンビニや駅舎が放火され、100人以上が負傷する大きな事件でした。

2年目は、殺人、放火、強盗、誘拐等々凶悪事件を扱う捜査一課を担当。容疑者が分からない捜査本部が設置される殺人事件が1週間で3件発生したことがありました。日々、事件の現場に行って聞き込みをしたり、刑事の家に夜討ち朝駆けをしたり、そんな中、昭和59年にグリコ森永事件が起きました。江崎グリコの江崎社長が誘拐され、その後、グリコと森永の製品に青酸化合物を入れるという脅迫状が届くなど、社会を不安に陥れた事件です。大阪を出た後、この事件には二度と関わることはないかと思っていましたが、Nステの未解決事件シリーズで関わることになり、これも何かの縁があったのかなと。当時、分からなかったことが、関係者に取材すると新たに掘り起こされるといったこともあって、過去の事件でも取材を続けることの大切さを改めて感じました。「未解決事件が起きている時代を生きている人々は不幸」とおっしゃった作家の高村薫さんの言葉が印象に残っています。

1995年1月、阪神・淡路大震災、当時西宮に住んでいました。阪神高速道路の橋脚が落ちて車がぺちゃんこになっている光景をまざまざと思い出します。この後の1年間、神戸で構造物の被害や住宅の再建などの取材をしながら、災害に強い建物を造るにはどうすればいいかといったことを追いかけていました。

そして、様々な記者会見。そこでは本当の情報は出てこない。真実や内定、捜査当局が隠し持っている情報を取るためには、担当している捜査員の家を調べて、容疑者が浮かんできているのか、逮捕は近いのか、内定をしていないかといった捜査の進捗をつかみに行きます。もちろん、簡単に教えてくれるわけではなく、名刺を受け取ってもらえたらまし、雑談してくれたらもっとまし、どうやって捜査員との関

係を築くのか距離の詰め方が必要です。また、こちらからも情報を提供するギブ&テイクまで持っていくのが常套手段だと思います。朝5時ごろから家を出て、夜は早くても11時、遅かったら1時、2時、こんな生活は若いときしかできません。ここで2年か3年経験してようやく一人前の記者になります。

一線の記者を終えてニュースデスクになり、記者の原稿をチェック、取材の指揮をするといった立場で出合ったのが福知山の線路脱線事故です。亡くなった方が107人、JR最悪の大惨事です。当時、京都にいてすぐに現場に駆けつけました。まだ規制線が張られる前で、ひっくり返っている車両の近くや線路まで立ち入ることができましたが、今まで見たことのない衝撃的な現場でした。このような大きな事件や事故があると、記者やデスクが取材拠点とする前線ができます。私はその前線デスクになりましたが、当日の夜遅く107人ほとんどの方の身元が判明しました。私は逡巡しました。ご遺族のところに取材に行かせるのか、ご遺族の心情を考えると行かせられないと思う一方、理不尽な事故で肉親をなくされた方の声を取るのには報道機関としての務めだろうと。苦渋の選択で取材は記者一人、ご遺族が応じてくださったらということで送り出しました。そして、何人かのご遺族にカメラを前に事故に対する怒り、悲しみ、悲しさというものを語っていただき、メディアとして視聴者に伝える責務が果たせたなと思います。

なぜ、事件・事故報道が必要なのか。事件・事故の原因背景を取材、報道することで社会に問題提起をする。それによって、再発防止に向けた機運を高めて、安全安心の社会の構築実現に貢献する。我々は、そうした役割を課せられていると考えています。

今後も高知でいただいたご縁を大切にして、皆さまと親しくさせていただければと思います。末永くどうかよろしくお願いします。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	6月24日	最終夜間例会(ク)	高知南RC	6月25日	最終夜間例会(ク)
高知中央RC	6月25日	ロータリー休日(城)	高知北RC	6月29日	ロータリー休日(三)
高知RC	6月30日	あじさい夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	6月30日	ロータリー休日(高)
高知中央RC	7月9日	夜間例会(城)	高知西RC	7月10日	夜間例会(三)
高知RC	7月21日	休会(三)	高知ロイヤルRC	7月21日	休会(高)
高知中央RC	7月23日	休会(城)	高知西RC	7月24日	休会(三)
高知ロイヤルRC	7月28日	夜間例会(高)	高知東RC	7月29日	休会(ク)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (ク)…ザクラウンパレス高知 (高)…高知プリンスホテル

ニコニコ箱 【敬称略】

- 山地 光浩 本日6月9日は私の55歳の誕生日です。子どもの学費やら、住宅ローンやら一家の大黒柱としてますます頑張ります。万雷の拍手でお祝いありがとうございます。ニコニコ。なお、帰りのカバンには、まだ若干の余裕がございます。お気遣い、ご遠慮なさらず。
- 川崎 敦子 6月7日県立美術館能楽堂にて開催されました「高知能楽大会」も無事に終了いたしました。ご来場くださいました皆さまに心より御礼申し上げます。さて、この度、文化庁の補助金交付が決定し、11月11日(水)には観世喜正先生(シテ)による能「大江山」。また12月9日(水)には喜多流・栗谷明生先生による能「綾鼓」の開催が決定いたしました。高知では、本格的な能楽に触れる機会が少なく、大変貴重な公演となります。ぜひ、多くの皆さまにご来場いただき、能楽の魅力をお楽しみいただけたら幸いです。開催が近づきましたら、改めてご案内申し上げます。
- 津野 泰孝 弊社は先週よりフィリピンのミンダナオ島ダバオ市でトンネル調査を行っております。昨日の地震で社員から連絡がありましたが、ケガ等なく安心しました。
- 川真田純也 愛妻誕生日への素敵な花をいただきありがとうございました。

◎6月9日(火) 送別会・祝賀会を開催しました

海老原史会員のご退職、十河睦友会員のご栄転、
荒井奈々絵会員の代表取締役社長ご就任、傍土基会員のアマチュアゴルフ選手権優勝



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	マークアップ	出席率
6月9日	(-6)82	47	27	2	64%
5月26日	(-5)82	54	15	8	80%

● 累計額 [6月9日現在]

ニコニコ箱	1,016,800	ロータリー ^{さん} 燦々基金	122,067 円
-------	-----------	--------------------------	-----------

■次週のプログラム [6月30日]

あじさい夜間例会 18:30～ 三翠園

◆7月7日 会長方針、各委員会計画発表

創 立
例 会
例 会
事 務
局

E-mail
HPアドレス

昭和12年10月

火曜日 12:30～13:30

三翠園ホテル TEL(822)0131

高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階
TEL(824)8660 FAX(824)2529

shinairc@joy.ocn.ne.jp

<https://www.221.ne.jp/kochirc/>